

特別展

「終戦 80 年～戦争とべつかい」のお知らせ！

太平洋戦争の終結から 80 年が経過し、先の大戦を記憶している人々も年々減りつつあります。町内に残る戦争遺産の紹介や戦争に関わる資料を展示公開し、戦時下の別海の様子をご紹介します。

●期間 令和 7 年 6 月 16 日（月）
～9 月 29 日（金）

●場所 別海町郷土資料館第二展示室

※特別展のため第二展示室の通常展示をご覧になることが出来ませんので、ご了承ください。



ふるさと講座・自然系第 1 回目

「アカアシシギ観察会」を実施しました。

5 月 18 日（日）参加者 8 名で実施しました。講師は、NPO 法人野付・エコ・ネットワークの藤井 薫さんです。はじめに講師よりレクチャーを受けました。この時期の野付半島は、ロシアやアラスカに渡るシギ・チドリの中継点として重要な場所であり、繁殖のため 6 月の第 1 週までに到着しなければならないため、餌を食べ体力をつけています。人が近くにいっても気にせず餌を食べている場所は少なく、野付半島の特徴とのことです。また、1972 年に初めてアカアシシギの繁殖が確認され、現在に至り、国内では、野付半島だけとのことです。レクチャーの後、車にて移動しました。アカアシシギは、見る事が出来ませんでしたが、シロチドリ、トウネン、ハマシギ、キョウジョシギ、キアシシギ、アオアシシギ、コアシシギ、ムナグロ、ダイゼンといったシギ・チドリをまじかで見ることができました。



郷土資料館をご活用ください！

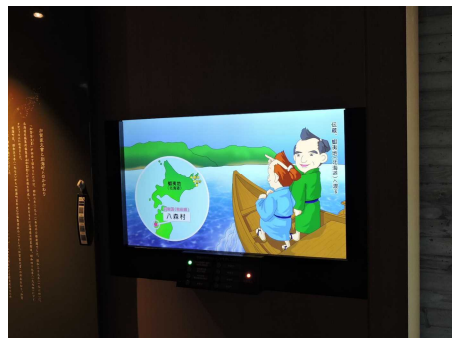
郷土資料館は、施設の一般公開のほか、出前講座や出前移動展など、みなさまの希望に応じて実施しております。限られたメニューではありますがご活用ください。

詳しいメニューは、<http://betsukai.jp/>から別海町郷土資料館を検索ください。

また、町内に所在する文化財の保護保存についても担当しておりますので、お問い合わせください。

加賀家文書館では、「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」アニメーションの上映を開始しています。

幕末にアイヌとともに生きた加賀伝蔵の生涯を町内外の多くの方に知ってもらおうと制作したものです。上映時間は、19分と長いアニメーションとなりますが、これまでの映像や日本遺産の紹介映像もご覧になることが出来ます。



豊原分館では、根釧パイロットファームの歴史や多くの郷土資料が見ることが出来ます。

●開館期間 5月～10月 毎週金曜日、最終日曜日

●時 間 午前10時から午後4時



奥行地区文化財では、建物内部の一般公開がはじまり、常駐する職員から奥行臼の詳しいお話を聞くことが出来ます。

●5月1日（木）から11月3日（月）まで ●公開時間 午前10時から午後4時30分

●休 館 日 月曜日（ただし祝日・振替休日が月曜の場合は開館） ●観 覧 料 無料

●公開する建物等



国史跡旧奥行臼駅通所



町指定文化財旧奥行臼駅



町指定文化財旧別海村村営軌道
風蓮線奥行臼停留所

別海町郷土資料館だより No.311

発行日 令和7年6月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802（FAX 兼）

編集後記 ふるさと講座自然系の観察会では、多くのシギを車の中からまじかで見ることが出来ました。このような観察会は、野付ならではのものであって、他の地域ではあり得ないことです。毎年開催していますが、なんて贅沢な観察会だろうと感じています。来年も実施予定ですので、ぜひ、ご参加ください。